

ON YOUR SIDE REPORT

2014.6

京都中央信用金庫の現況

2014年度第1四半期(2014年4月1日~6月30日)における経営情報を開示いたします

当金庫の概要 (平成26年6月30日現在)

本店所在地 / 京都市下京区四条通室町東入
函谷鉾町91番地
創立 / 昭和15年6月18日
預金積金残高 / 4兆2,302億円
貸出金残高 / 2兆2,254億円
出資金 / 215億円
会員数 / 234,461人
店舗数 / 128店舗
職員数 / 2,737人

(注) この四半期ディスクロージャーは、当金庫が自主的に開示するものです。計数につきましては、単位未満を切り捨てて表示していますので、合計が一致しない場合があります。なお、内容や諸計数については、会計監査人の監査を受けておりません。本資料は、発表日現在において入手可能な情報に基づいております。

T O P I C S

■2014年4月1日～6月30日

4月

APRIL

- ・「京税中信クラブ」親睦ゴルフ例会開催
- ・第43回「中信杯 全京都学童軟式野球春季大会」決勝戦・表彰式
- ・「ある日の幻妖 齋藤真成展」開催（中信美術館 8日～5月11日）
- ・店舗外ATM長岡支店 フレッシュバザール長岡京店出張所 開設
- ・第118回「中信禅サークル」≪天龍寺≫開催
- ・第106回「中信青年経営者倶楽部」引継例会開催
- ・常務理事 川勝 哲夫 専務理事就任、理事 佐近 大祐 常務理事就任

5月

MAY

- ・「クールビズ」実施（1日～10月31日）
- ・「中信ベンチャー・投資ファンド4号投資事業有限責任組合」設立
- ・第42回「中信チャリティーオープンゴルフ大会」開催（13～15日）
- ・中国信託ホールディング（台湾）と業務提携締結
- ・「中信経済講演会」開催
- ・第27回「京都美術文化賞」贈呈式挙行（公益財団法人 中信美術奨励基金）
- ・『滋賀健康創生』特区における総合特区支援利子補給金制度対象金融機関に指定

6月

JUNE

- ・交通銀行（中国）と業務提携締結
- ・第167回「中信味覚の会」≪竹茂楼≫開催（5～27日、全13班）
- ・所蔵品展「心に残る日本の風景」開催（中信美術館 5日～7月6日）
- ・「中信青年経営者倶楽部」親睦ボウリング大会開催
- ・平成26年度奨学生合格証授与式ならびに奨学生交流会開催（公益財団法人 中信育英会）
- ・第74期通常総代会開催
- ・専務理事 平林 幸子 副理事長就任、副理事長 坂本 勝 理事・相談役就任、執行役員 五百木 章治 理事就任
- ・「琵琶湖を美しくする運動」琵琶湖一斉清掃に参加
- ・ディスクロージャー誌『京都中央信用金庫の現況 ON YOUR SIDE REPORT 2014』・『京都中央信用金庫ミニディスクロージャー誌2014』発行



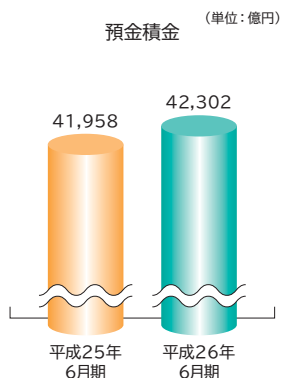
第27回「京都美術文化賞」贈呈式



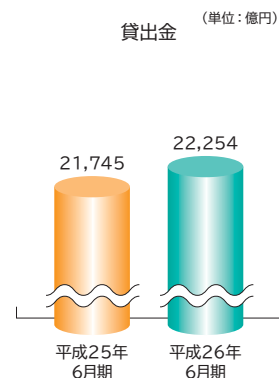
平成26年度奨学生合格証授与式

預金・貸出金の状況

預金積金については、年金受給口座の獲得等により個人預金（普通預金）が増加した結果、平成26年6月期の残高は、前年同期比343億円増加し、4兆2,302億円となりました。

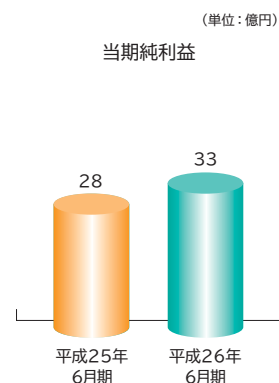
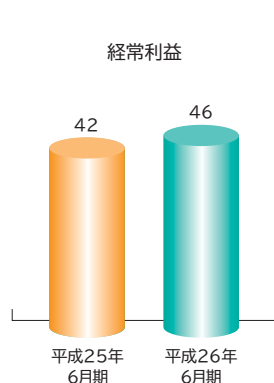
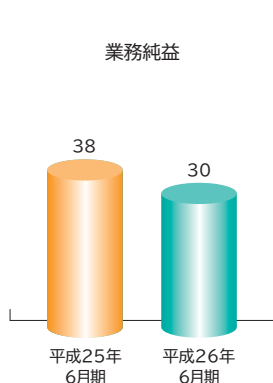


貸出金については、経済環境が回復基調にあり、資金需要が増加しつつある状況の中、地域金融機関として積極的にお客さまのニーズにお応えした結果、平成26年6月期の残高は、前年同期比509億円増加し、2兆2,254億円となりました。うち、中小企業等向け貸出金は2兆1,034億円となりました。



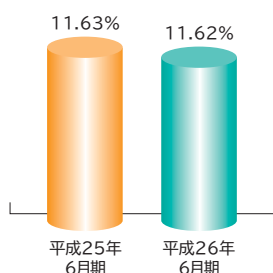
損益の状況

資金収支の減少等により、業務純益は30億円と前年同期比7億円減少しましたが、与信関連費用の減少等により、経常利益は46億円と前年同期比3億円の増加となりました。その結果、当期純利益は33億円と前年同期比5億円の増加となりました。



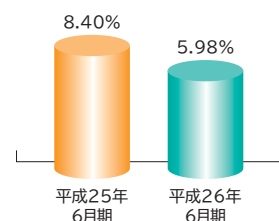
自己資本比率の状況 (単体)

平成26年6月期の自己資本比率は、平成26年3月期から新しい自己資本比率規制（バーゼルⅢ国内基準）が導入されたこと等により、前年同期比0.01ポイント低下の11.62%となりましたが、金融機関の健全性を示す基準となる水準（国内基準:4%）を大きく上回っております。



不良債権の状況

平成26年6月期の金融再生法開示不良債権は1,334億円、不良債権比率は5.98%となりました。



(注1) 本計数は、発表日現在において入手可能な情報に基づいております。

(注2) 中小企業等とは、資本の額又は出資の総額が3億円（ただし、卸売業1億円、小売業、サービス業は5千万円）以下の法人たる事業者又は常用する従業員の数が300人（ただし、卸売業は100人、小売業は50人、サービス業は100人）以下の事業者及び個人です。

預金・貸出金の状況

(単位：百万円)

	平成25年6月期	平成26年6月期
預金積金(A)	4,195,877	4,230,215
貸出金(B)	2,174,516	2,225,473
預貸率(B/A)	51.82%	52.60%

(注)本計数は、発表日現在において入手可能な情報に基づいております。

損益の状況

(単位：百万円)

	平成25年6月期	平成26年6月期
経常収益	17,824	17,477
経常費用	13,578	12,862
経常利益	4,245	4,614
(業務純益)	3,861	3,082
当期純利益	2,803	3,305

(注)本計数は、発表日現在において入手可能な情報に基づいております。

自己資本比率の状況(単体)

(単位：百万円)

	バーゼルⅡ	バーゼルⅢ
	平成25年6月期	平成26年6月期
自己資本額(A)	218,333	226,497
うち基本的項目	198,661	—
リスク・アセット等(B)	1,876,900	1,948,583
自己資本比率(A)/(B)	11.63%	11.62%

(注1)上記の数値は速報値です。

(注2)自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第21号)」が改正され、平成26年3月31日から改正後の告示が適用されたことから、平成25年6月期においては旧告示に基づく開示、平成26年6月期においては新告示に基づく開示を行っております。なお、当金庫は国内基準を採用しております。

(注3)本計数は、発表日現在において入手可能な情報に基づいております。

不良債権の状況

(単位：億円)

金融再生法による開示残高	平成25年6月期	構成比	平成26年6月期	構成比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	81	0.38%	64	0.29%
危険債権	1,571	7.20%	1,161	5.20%
要管理債権	179	0.82%	109	0.49%
小計	1,832	8.40%	1,334	5.98%
正常債権	19,983	91.60%	20,974	94.02%
合計	21,815	100.00%	22,308	100.00%

(注1)上記の数値は速報値です。

(注2)本計数は、発表日現在において入手可能な情報に基づいております。